

既 刊 年 報

本研究所は所員の研究業績の発表機関として、Bulletin of the Disaster Prevention Research Institute, 年報および記念論文集を刊行し、国内および国外の主要大学並びに関係諸機関に寄贈している。なお、別途に京都大学防災研究所十年史、十五周年小史、二十年史、二十五周年小史、三十年史が刊行されており、当研究所のあゆみを知ることができる。また防災研究所要覧（和文、英文）が刊行されていて、当研究所の沿革・予算・定員・組織・研究活動などの概要が一覧できる。第21号（昭和52年度）以降の刊行年報は次のとおりである。

第 21 号 A（昭和52年度），昭和53年 4 月

頁

| | | |
|--------------------------|-------------------|----|
| 橋梁基礎の地震応答解析と耐震設計 | 土岐 憲三 | 1 |
| 海岸侵食について | 土屋 義人 | 25 |
| 防災問題における資料解析研究 (5) | 中島暢太郎・後町 幸雄・松村 一男 | 43 |

第 21 号 B-1（昭和52年度），昭和53年 4 月

1977年 9 月30日の山崎断層の小地震に伴った諸観測量の異常変化について

| | | |
|---|-----------------------|-----|
| （山崎断層研究グループ代表） | 岸本 兆方 | 1 |
| 山崎断層における伸縮変化の連続観測結果 | 尾池 和夫・中村佳重郎 | 11 |
| 山崎断層付近における γ 線の測定について（その1） | 竹内 文朗・見野 和夫・貞広 太郎 | 19 |
| 山崎断層の地震（1977年 9 月30日，M3.7）の震源付近の V_p/V_s 異常 | 佃 為成 | 27 |
| 山崎断層・塩田温泉の塩素濃度と地震現象との関連 | 吉岡 龍馬 | 37 |
| 山崎断層・ ^{うすづく} 春における自然電位の経年変化 | 宮腰潤一郎 | 43 |
| 鹿野・吉岡断層付近の地震活動 | 佃 為成 | 47 |
| 北陸地方の微小地震活動（第1報） | 渡辺 邦彦・平野 憲雄・岸本 兆方 | 57 |
| γ -線の測定——花折断層—— | 見野 和夫 | 69 |
| 鳥取における全磁力経年変化について（II） | 住友 則彦・矢部 征 | 79 |
| 天ヶ瀬地殻変動観測所における地殻変動観測（第3報） | 高田 理夫・古沢 保・竹本 修三・山田 勝 | 87 |
| 局所地震のP～S間に見られる顕著な phase について | 古沢 保・赤松 純平 | 97 |
| 屯鶴峯地殻変動観測所における地殻変動観測（第8報） | 高田 理夫・尾上 謙介・藤田 安良 | 107 |
| 紀州鉾山における地殻変動の観測——伸縮計による観測—— | 小沢 泉夫 | 113 |
| 上宝地殻変動観測所の地殻変動・地震観測 テレメータ・システム | 上宝地殻変動観測所・地震予知計測部門 | 119 |
| 地球潮汐への海洋潮汐の影響に関する一考察 | 田中 寅夫 | 137 |
| 桜島火山に発生するやや深い地震の発震機構 | 西 潔 | 145 |
| 桜島火山近傍の垂直地盤変動と山頂噴火活動の関係について | 石原 和弘・江頭 庸夫 | 153 |
| 核磁力計による桜島磁場観測 (2) | 田中 良和 | 163 |
| 柱はり接合部を貫通する部材主筋の付着破壊と接合部耐力に関する実験的研究 | 若林 實・中村 武・松田 英樹 | 171 |
| 十字形骨組で構成される鉄骨鉄筋コンクリート柱はり接合部のせん断破壊に関する実験的研究（その1） | 若林 實・南 宏一・西村 泰志 | 185 |
| 鋼管コンクリート柱のせん断強度に関する実験的研究 | 若林 實・南 宏一・佐々木良一・小河 弘明 | 201 |

| | | |
|--|----------------------------|-----|
| 筋造付骨組の復元力特性と地震応答に関する研究 | 柴田 道生 | 233 |
| 近接する根入れ構造物相互の連成振動特性について | 小堀 鐸二・日下部 馨 | 249 |
| 土石流の総合的観測 その4, 1977年焼岳上々堀沢における観測 | 奥田 節夫・諏訪 浩 | |
| 奥西 一夫・横山 康二・仲野 公章・小川 恒一・浜名 秀治 | | 277 |
| 愛知県小原村周辺の山崩れについて (1) | | |
| ——斜面形, 土層構造と山崩れについて—— | 奥西 一夫・飯田 智之 | 297 |
| 兵庫県一宮町崩壊地の水質と粘土鉱物 | 吉岡 龍馬・高谷 精二 | 313 |
| 上嵯峨地すべり地の地下水について (続) | 中川 鮮・島 通保 | 323 |
| 九鬼地すべり地における水文特性について (序報) | 島 通保・末峯 章・小西 利史 | 333 |
| 台風7705号による被害について | 石崎 潑雄・吉川 祐三 | 349 |
| 台風7709号による沖永良部島の被害について | 石崎 潑雄・谷池 義人 | 363 |
| 潮岬における風力エネルギーについて | 石崎 潑雄・光田 寧・林 泰一 | 375 |
| 異常天候の研究 (第1報) | 山元龍三郎・岩嶋 樹也・星合 誠 | 383 |
| 改良された標準計画台風 | 光田 寧・藤井 健・文字 信貴・川平 浩二・塚本 修 | 393 |
| 八重山群島を襲った台風5号(7705)の気象学的特性について | | |
| 光田 寧・文字 信貴・塚本 修・浅井 東洋 | | 405 |
| 沖永良部島を襲った台風9号(7709)の気象学的特性について | | |
| 山元龍三郎・光田 寧・文字 信貴・塚本 修・末延 龍雄 | | 417 |
| 強風時における風速変動の空間相関について | 塚本 修・光田 寧 | 427 |
| 大気境界層下部の鉛直構造 | 文字 信貴・大西 隆 | 437 |
| 接地気層における渦度とその輸送について | 光田 寧・浅井 東洋 | 445 |

第21号 B-2 (昭和52年度), 昭和53年4月

| | | |
|--------------------------------------|-------------------|-----|
| 繰り返し過圧密粘性土の低応力下でのダイレテンシー・強度特性 | 清水 正喜 | 1 |
| バーチカルドレーンによる圧密機構の考察 | 赤井 浩一・大西 有三・安川 郁夫 | 19 |
| マルコフ過程を用いた粒状体の力学モデル (1) | 北村 良介 | 37 |
| 自己回帰・移動平均法による構造物の動的パラメータの推定 | | |
| 土岐 憲三・佐藤 忠信・生木 泰秀 | | 57 |
| 井筒基礎の震動特性に関する実験的研究 | 土岐 憲三・佐藤 忠信・三浦 房紀 | 69 |
| 偏平箱桁断面の渦励振動特性に関する実験的研究 | | |
| 白石 成人・松本 勝・武内 隆文・佐伯 英和 | | 93 |
| 福山, 笠岡周辺の夏の海陸風について | 中島暢太郎・田中 正昭 | 113 |
| 海峡部における潮流の特性に関する研究 | 武岡 英隆・樋口 明生 | 129 |
| 面積平均的降雨の時間分布の統計的特性に関する研究 | | |
| ——連続最大配分率について—— | 友杉 邦雄 | 137 |
| 洪水流出計算の総合化に関する一考察 | 石原 安雄・小葉竹重機 | 153 |
| 閉塞浸透における不飽和域の解析 | 石原 安雄・下島 栄一 | 173 |
| 多ダム・多評価地点系の最適操作に関する研究 | 高棹 琢馬・池淵 周一・小尻 利治 | 193 |
| Kinematic wave 法における場および定数の集中化 | 高棹 琢馬・椎葉 充晴 | 207 |
| 丘陵山地流域モデルと洪水流出モデル | 角屋 睦・福島 晟・佐合 純造 | 219 |
| 洪水流出モデルの適用比較——丘陵山地流域及び市街地流域を対象として—— | | |
| 永井 明博・角屋 睦 | | 235 |
| 裸地斜面域における土壌水の流動解析 | 岡 太郎 | 251 |

| | | |
|---|------------------------|-----|
| 琵琶湖南・北湖の交流特性 | 村本 嘉雄・道上 正規 | 263 |
| 斜め段落ち流れに関する実験的研究 | 村本 嘉雄・藤田裕一郎 | 277 |
| 琵琶湖南湖の湖流と拡散に関する数値シミュレーション | 岩佐 義朗・井上 和也・足立 敏之 | 293 |
| 移流分散方程式の数値解析 | 岩佐 義朗・綾 史郎・小門 武 | 307 |
| 貯水池における濁度解析について | 岩佐 義朗・松尾 直規・井上 泰行 | 319 |
| 開水路断面変化部における流れの水利特性について (3) | | |
| ——段上り部および段落ち部に関する実験的検討—— | | |
| | 今本 博健・藤井 義文・西尾 誠・田中 一彦 | 331 |
| 円柱周辺における開水路流れの水利特性について | 今本 博健・藤田 徹・日紫喜剛啓 | 355 |
| 河床波の発生・発達過程に関する実験的研究 | 宇民 正・上野 鉄男 | 367 |
| 河床形状と流砂の相互関係と河床波の変形過程について | 中川 博次・辻本 哲郎・矢田 篤 | 385 |
| 16mm 撮影による掃流砂運動の特性量解析と流砂の平衡状態について | 中川 博次・辻本 哲郎・宮本 博司 | 407 |
| 土石流危険度の評価法に関する研究 | 芦田 和男・高橋 保・澤井 健二 | 423 |
| ダム堆砂の排除に関する研究——渦動排砂管の水利機能—— | | |
| | 芦田 和男・高橋 保・千田 実 | 441 |
| 成層密度流の流速分布則に関する研究 | 芦田 和男・江頭 進治 | 455 |
| 山地流域における出水と土砂流出 (7) | 芦田 和男・高橋 保・沢田 豊明 | 467 |
| 直立防波堤に作用する衝撃砕波圧に関する研究 | 岩垣 雄一・酒井 哲郎・浅野 敏之 | 485 |

第 22 号 A (昭和53年度), 昭和54年 4 月

| | | |
|---|-------------------|----|
| 洪水災害の発生と出水予知 | 石原 安雄 | 1 |
| A NEW LOOK AT BEACH EROSION CONTROL | Richard SILVESTER | 19 |
| 防災問題における資料解析研究 (6) | 中島暢太郎・後町 幸雄・松村 一男 | 32 |

第 22 号 B-1 (昭和53年度), 昭和54年 4 月

| | | |
|---|------------------------------------|----|
| 北陸地方南部の地殻構造について | 松村 一男・見野 和夫・渡辺 邦彦・竹内 文朗・平野 憲雄 | 1 |
| 北陸地方の微小地震活動の特徴について (その1) | 竹内 文朗・平野 憲雄 | 11 |
| 手取川ダム砕石発破記録を利用した V_p の時間変化について | 平野 憲雄・渡辺 邦彦・竹内 文朗 | 19 |
| ラドン観測 (その1) ——予備観測—— | 見野 和夫・西村 進 | 29 |
| 吉松地震観測所に於ける地震観測 (1) | | |
| —— 2つの3点観測網からえられた震源位置の比較 —— | 石原 和弘・須藤 靖明 | 35 |
| 跡津川断層付近におけるボア・ホール型傾斜計による観測 (1) | | |
| …加藤 正明・土居 光・和田 安男・三雲 健・田中 寅夫・津嶋 吉男・小泉 誠 | | 45 |
| 地球潮汐への海洋潮汐の影響に関する一考察 (続) | 田中 寅夫 | 55 |
| 宮崎地殻変動観測所における地殻変動観測 (第1報) | | |
| | 高田 理夫・古沢 保・竹本 修三・尾上 謙介・寺石 眞弘・園田 保美 | 61 |
| 垂直成分回転ひずみ計による地殻変動の観測 | 小沢 泉夫・藤井 和成 | 79 |
| 対称型地震計による地震波観測 | 赤松 純平・西 正男 | 83 |
| ランダムな速度のゆらぎを持つ2次元媒質モデルにおける P 波の散乱について | 松波 孝治 | 91 |

| | | |
|---|-------------------|-----|
| 近接する根入れ構造物相互連成系の地震応答について | 小堀 鐸二・日下部 馨 | 107 |
| 側面より風を受ける円筒形空気膜構造について | 國枝 治郎・横山 良幸・荒川 正夫 | 133 |
| 土石流の総合的観測 その5, 1978年焼岳上々堀沢における観測奥田 節夫・諏訪 浩・奥西 一夫・横山 康二・小川 恒一・浜名 秀治 | | 157 |
| 溶存アルゴンからみた地下水の動き (1)吉岡 龍馬・出井 紘・富野 孝生・田中 稔章・豊田 恵聖・高橋 正美 | | 205 |
| 1978年宮城県沖地震による建造物の被害若林 實・中村 武・南 宏一・吉田 望・岩井 哲・浅草 肇 | | 217 |
| 振動台を用いた鋼構造骨組の動的加振実験若林 實・中村 武・吉田 望・岩井 哲・高井 秀博 | | 243 |
| コンクリートと鋼材の応力-歪関係に及ぼす影響若林 實・中村 武・吉田 望・岩井 哲 | | 255 |
| 鉄骨鉄筋コンクリート長柱の弾塑性安定に関する実験的研究若林 實・南 宏一・浅草 肇 | | 273 |
| 鉄筋コンクリート柱のせん断破壊防止法に関する実験的研究 | 若林 實・南 宏一 | 295 |
| 十字形骨組で構成される鉄骨鉄筋コンクリート柱はり接合部のせん断破壊に関する実験的研究 (その2) | 若林 實・南 宏一・西村 泰志 | 317 |
| 高層筋違付架構の履歴復元力特性に関する研究 | 若林 實・柴田 道生 | 335 |
| 角柱のギャロッピング振動に関する実験 | 石崎 潑雄・谷池 義人 | 349 |
| 1978年9月16日湖岬を襲った竜巻について | 石崎 潑雄・光田 寧・林 泰一 | 371 |
| 1978年2月28日に東京地方を襲った竜巻について光田 寧・文字 信貴・岩谷 祥美・西岡 淳一 | | 385 |
| 北九州地方を襲った台風18号 (7818) の気象学的特性について光田 寧・藤井 健・末延 龍男 | | 407 |
| 電波音波複合探査装置 (RASS) の可能性について | 光田 寧・伊藤 芳樹 | 419 |
| 赤外線温度計と熱電対乾湿計の比較観測について | 塚本 修・光田 寧 | 429 |

第22号 B-2 (昭和53年度), 昭和54年4月

| | | |
|--|-----------------------|-----|
| 水道管路の震害予測 | 土岐 憲三 | 1 |
| 時系列理論による強地震動特性の推定 | 土岐 憲三・佐藤 忠信 | 25 |
| 自然強風に対する長大橋梁の空力不規則応答特性に関する研究白石 成人・松本 勝・小川 哲治・加藤 隆 | | 37 |
| 層状砂地盤の液状化解析 | 後藤 尚男・岡 二三生・関口 宏二 | 49 |
| サンドドレーンによる地盤改良の問題点 | 赤井 浩一 | 75 |
| 正規・過圧密粘性土のダイレタンス特性と応力ひずみ関係 | 清水 正喜 | 85 |
| マルコフ過程を用いた粒状体の力学モデル (2) | 北村 良介 | 107 |
| 局地異常気象観測解析装置について | 中島暢太郎・光田 寧・田中 正昭・中村 武 | 127 |
| 琵琶湖周辺の気象 (2)——琵琶湖北部の湖陸風——..... | 枝川 尚資・中島暢太郎 | 143 |
| 地点毎時記録から認識される降水・無降水時間の連の確率過程的特性 | 友杉 邦雄 | 155 |
| 濁質水を考慮したダム制御に関する一考察 | 高棹 琢馬・池淵 周一・小尻 利治 | 167 |
| 洪水の時・空間生起確率算定法とその治水計画への適用 | 高棹 琢馬・池淵 周一 | 179 |
| 洪水比流量曲線へのアプローチ | 角屋 睦・永井 明博 | 195 |

| | | |
|--|------------------------------------|-----|
| 流出モデル定数の最適化手法 | 永井 明博・角屋 睦 | 209 |
| Kinematic wave 法に基づく流出計算法の総合化について | 高樫 琢馬・椎葉 亮晴 | 225 |
| 巨椋低平流域の都市化と内水 | 角屋 睦・早瀬 吉雄 | 237 |
| FEMによる扇状地地下水の平面解析——田川流域の地下水に関する研究(4)—— | 岡 太郎 | 257 |
| 閉塞浸透機構に関する研究(2) | 石原 安雄・下島 栄一 | 271 |
| 内筒回転式土壌浸食試験法について | 澤井 健二・芦田 和男 | 291 |
| 山地流域における出水と土砂流出(8) | 芦田 和男・高橋 保・沢田 豊明 | 301 |
| 土石流の停止・堆積機構に関する研究(1)——勾配の急変による堆積—— | 高橋 保・吉田 等 | 315 |
| ダム堆砂の排除に関する研究(2)——スリットダムの水理機能—— | 芦田 和男・澤井 健二 | 329 |
| 貯水池水理の数値解析法とその適用について | 岩佐 義朗・松尾 直規・俞 朝夫 | 341 |
| 成層密度流の流れの構造に関する研究 | 江頭 進治・芦田 和男 | 355 |
| 密度躍層のある場における濁水の挙動に関する研究(4) ——貯水池濁度の解析手法を中心として—— | 芦田 和男・江頭 進治・古谷 健 | 383 |
| 開水路流れにおける輸送過程 | 岩佐 義朗・綾 史郎・藤田 乾一・細田 尚 | 399 |
| 噴流干渉時の乱流構造に関する実験的研究——双対噴流の乱流構造—— | 中川 博次・福津 家久・神田 幹夫 | 415 |
| 固液混相開水路流れの水理特性に関する研究(1) | 今本 博健・大年 邦雄 | 453 |
| 開水路流れの大規模乱流構造と構造物周辺の局所流との関連について | 今本 博健・宇民 正・上野 鉄男・日紫喜剛啓・仲井 公哉 | 469 |
| 分岐部周辺における流れの水理特性について | 芦田 和男・川合 茂 | 491 |
| 床固めの水理機能に関する研究 | 道上 正規・鈴木 幸一 | 507 |
| 河床波の発生・発達過程に関する実験的研究(2) | 宇民 正・上野 鉄男・有本 俊志 | 521 |
| 直線流路の側岸侵食機構 | 藤田 裕一郎 | 537 |
| 移動床における掃流砂れきの不規則運動性状について | 中川 博次・辻本 哲郎・細川 泰廣 | 553 |
| 琵琶湖南湖の熱収支——琵琶湖大橋断面での湖水交換—— | 村本 嘉雄・大西 行雄・大久保賢治 | 575 |
| びわ湖湖流の研究——湖流と内部波の分離—— | 今脇 資郎・遠藤 修一・國司 秀明 | 591 |
| 水温変動からみたびわ湖の内部波の研究 | 遠藤 修一・今脇 資郎・國司 秀明 | 601 |
| 紀伊水道の Oceanic Front における流れの観測 | 大西 行雄・吉岡 洋・國司 秀明・芹沢 重厚・村上真裕美・秋友 和典 | 611 |
| 瀬戸内海における海水交流の実験的研究(Ⅲ) | 樋口 明生・武岡 英隆・黒田 芳史・北川 吉男 | 625 |
| STD の水温・塩分の補正 | 吉岡 洋・芹沢 重厚 | 631 |

第 23 号 A (昭和54年度), 昭和55年 4 月

| | | |
|-------------------|------------------|----|
| 中国の地震学と地震予報 | 尾池 和夫 | 1 |
| 台風とそれに伴う強風について | 光田 寧 | 17 |
| 防災問題における資料解析研究(7) | 若林 實・後町 幸雄・松村 一男 | 43 |

第 23 号 B-1 (昭和54年度), 昭和55年 4 月

| | | |
|---|-------|----|
| 南九州とスマトラの火山活動と火山 | 西村 進 | 1 |
| 吉松地震観測所における地震観測(Ⅱ)——1978~1979年の加久藤カルデラの地震活動—— | 石原 和弘 | 21 |

| | | |
|---|-------------------|-----|
| 火山性地震のスペクトルの研究 (1)——爆発地震—— | 西 潔 | 29 |
| 跡津川断層, 上宝および中央構造線における光波測量 | 田中 寅夫・細 善信・土居 光 | |
| 小泉 誠・和田 安男・加藤 正明・和田 博夫・三雲 健 | | 37 |
| 天ヶ瀬地殻変動観測所における地殻変動観測 (第4報) | | |
| 高田 理夫・古沢 保・竹本 修三・山田 勝 | | 47 |
| 傾斜およびひずみ地震動の観測について | 小沢 泉夫 | 55 |
| 微小地震のb値とエネルギー分布 | 見野 和夫・松村 一男 | 67 |
| 山崎断層における伸縮変化と降雨との関係について | 中村佳重郎・尾池 和夫 | 77 |
| 1979年10月16日の花折地震の通信調査について | 長 秋雄・見野 和夫 | 87 |
| 黄葉断層の地震探査 | | |
| 小林 芳正・入倉孝次郎・堀家 正則・天池 文男・岸本 清行・春日 茂 | | 95 |
| 炭山地震観測室における地震観測 (2) | | |
| ——局所地震の coda parts の減衰とスペクトルの性質—— | 赤松 純平 | 107 |
| 2次元多孔性媒質モデルにおけるS波の散乱について | 松波 孝治 | 115 |
| 起振機試験による基礎地盤動特性の評価について | 小堀 鐸二・日下部 馨 | 121 |
| 起振機試験による連成基礎の振動特性について | 小堀 鐸二・日下部 馨 | 137 |
| 多層筋違付架構の動的応答性状に関する研究 (その1) | 若林 實・柴田 道生 | 149 |
| 構造部材の挙動に及ぼす載荷速度の影響に関する実験的研究 | | |
| 若林 實・中村 武・吉田 望・岩井 哲・渡辺 幸広 | | 159 |
| 振動台を用いた鋼構造骨組の動的加振実験 (その2) | | |
| 若林 實・中村 武・吉田 望・岩井 哲・高井 秀博 | | 173 |
| 鋼構造柱脚部の終局耐力に関する実験的研究 (その1) | 若林 實・中村 武・磯部 正 | 187 |
| X形配筋を施した鉄筋コンクリート構造の弾塑性性状に関する基礎的研究 (その1) | | |
| 若林 實・南 宏一・久木 幸雄 | | 199 |
| 軸力と2軸曲げを受ける鉄筋コンクリート長柱の弾塑性安定解析 | | |
| 若林 實・中村 武・岩井 哲 | | 215 |
| 角柱の振動時における3次元の空気力特性について | 石崎 潑雄・谷池 義人・中山 久司 | 229 |
| 風による角柱の振動不安定性に対する稜の寸法比の影響について | | |
| 石崎 潑雄・谷池 義人・近藤 宏二 | | 241 |
| 潮岬における突風前線の観測について (1) | 石崎 潑雄・光田 寧・林 泰一 | 257 |
| 移動する台風の気圧場から求めた傾度風と実測風との比較 | | |
| ——標準計画台風の通過にともなう地表風のシミュレーションの方法の開発の準備—— | | |
| 光田 寧・藤井 健・川平 浩二 | | 271 |
| 台風を中心付近の構造について | 光田 寧・末延 龍雄 | 281 |
| 1979年に発生した台風に伴う竜巻 | 光田 寧・文字 信貴・石川 裕彦 | 289 |
| 強風時における風の乱れの空間的構造 | 光田 寧・塚本 修 | 303 |
| 風の遠隔測定のための音波探査器 | 光田 寧・伊藤 芳樹・内田 諭 | 325 |
| 伊良原地すべりの移動性について (1) | 島 通保・末峯 章・小西 利史 | 335 |
| 地すべり発生機構に関する2, 3の知見 (破碎帯地すべりの一例) | | |
| 末峯 章・島 通保・小西 利史 | | 345 |
| 土石流の総合的観測 その6, 1979年焼岳上々堀沢における観測 | 奥田 節夫・諏訪 浩 | |
| 奥西 一夫・横山 康二・小川 恒一・浜名 秀治・田中 俊 | | 357 |

愛知県小原村周辺の山崩れについて (Ⅱ) ——斜面における土壌水と基岩の風化について——

..... 飯田 智之・奥西 一夫・中川 鮮…395

第 23 号 B-2 (昭和54年度), 昭和55年 4 月

時系列理論による強震動のシミュレーション土岐 憲三・佐藤 忠信・江尻 謙嗣… 1
埋設管の震害予測のための地震動の推定法について

.....後藤 尚男・亀田 弘行・高田 至郎・杉戸 真太… 13

橋梁構造断面の空力ガスト過渡応答特性に関する研究

.....白石 成人・松本 勝・加藤 隆・白土 博通・松村 修… 29

杭に働く負摩擦の模型実験と解析柴田 徹・関口 秀雄… 41

傾斜地盤上の基礎の支持力について赤井 浩一・佐野 郁雄… 57

粘性土の三軸伸張および等方圧縮挙動に対するせん断履歴の影響清水 正喜… 73

台風7916号について

.....中島暢太郎・光田 寧・後町 幸雄・田中 正昭・藤井 健・文字 信貴… 87

琵琶湖周辺の気象 (3)——湖陸風の鉛直構造——.....枝川 尚資・中島暢太郎…113

宇治川気象観測塔で観測された冬期の冷えこみと霧について田中 正昭…123

強雨の時間変動の統計的構造に関する研究——地点・毎10分記録の雨量配分率・連解析——

.....友杉 邦雄…133

面積雨量のシミュレーション法とその流出モデル評価への適用池淵 周一・谷本 光司…157

間隙空気の閉塞を伴う一定強度の降雨浸透について石原 安雄・下島 栄…175

エントロピー的にみた降雨・流出変換特性とそのモデル化高樫 琢馬・池淵 周一…193

状態空間法による流出予測——kinematic wave 法を中心として——.....高樫 琢馬・椎葉 充晴…211

宅地域の雨水浸透と流出特性岡 太郎・角屋 睦・野口 美具…227

タンクモデルの最適同定法に関する基礎的検討永井 明博・角屋 睦…239

長期流出タンクモデルの実用的同定法とその考察

.....永井 明博・角屋 睦・中嶋 章雅・鈴木 克英…249

巨椋低平流域の都市化と内水 (2)——現状と将来——.....角屋 睦・早瀬 吉雄・西村 昌之…263

治水・利水を包含した貯水池操作に関する一考察高樫 琢馬・池淵 周一・小尻 利治…279

河川堤防破壊時の水流に関する実験的研究石原 安雄・小葉竹重機…293

氾濫水の水利の数値解析法岩佐 義朗・井上 和也・水島 雅文…305

内湾の物質分散過程における潮流と恒流の相乗効果

.....大西 行雄・國司 秀明・吉松 康公・秋友 和典…319

沿岸海域の物質分散 (1)——瞬間点源染料拡散実験——.....柳 哲雄・樋口 明生…333

潮汐残差環流間の物質分散樋口 明生・黒田 芳史・柳 哲雄・北川 吉男…339

密度流におけるコリオリ効果に関する研究大西 行雄・大久保賢治・原島 省・村本 嘉雄…351

固液混相開水路流れの水利特性に関する研究 (2)今本 博健・大年 邦雄…373

山地流域における出水と土砂流出 (9).....芦田 和男・高橋 保・沢田 豊明…393

河道における微細土砂の生産・流出機構に関する研究

.....芦田 和男・江頭 進治・金屋敷忠儀・小川 義忠…413

土石流の調節制御に関する研究——立体格子型砂防堰堤の水利機能——.....芦田 和男・高橋 保…433

土石流の停止・堆積機構に関する研究 (2)——土石流扇状地の形成過程——.....高橋 保…443

河床波の変形過程に関する実験的研究芦田 和男・澤井 健二…457

流路形態の形成過程に関する研究藤田裕一郎・村本 嘉雄…475

| | | |
|--------------------------|-------------------|-----|
| 斐伊川の土砂収支と河床変動の将来予測 | 道上 正規・鈴木 幸一・定道 成美 | 493 |
|--------------------------|-------------------|-----|

第 24 号 A (昭和55年度), 昭和56年 4 月

| | | |
|-------------------------------|------------------|----|
| 建築構造物の確率論的地震応答解析について | 南井良一郎 | 1 |
| セント・ヘレンズ火山の噴火に伴う災害現象と対応 | 高橋 保 | 15 |
| 防災問題における資料解析研究 (8) | 若林 實・後町 幸雄・松村 一男 | 35 |

第 24 号 B-1 (昭和55年度), 昭和56年 4 月

| | | |
|--|------------------------|-----|
| 桜島火山の溶岩流 (1)——有史時代の溶岩流の容積—— | | |
| 石原 和弘・高山 鉄朗・田中 良和・平林 順 | 1 | |
| 桜島における火山ガスの成分変化と火山活動 | 平林 順 | 11 |
| スタッキング電気探査装置の開発と阿蘇火口周辺における電気探査について | | |
| 田中 良和・江頭 庸夫・中村 貞美・須藤 靖明・増田 秀晴 | 21 | |
| 山崎断層地震予知テストフィールド連続観測システムについて | | |
| 尾池 和夫・渡辺 邦彦・中村佳重郎・谷口 慶祐・岸本 兆方 | 29 | |
| 東海地域における地震予知観測の方法について | | |
| 尾池 和夫・見野 和夫・松尾 成光・岸本 兆方 | 41 | |
| 1980年 9 月11日, 琵琶湖地震の通信調査 | 長 秋雄・見野 和夫 | 51 |
| 地殻変動連続観測記録の集録・処理システム | 高田 理夫・古沢 保・大谷 文夫・寺石 真弘 | 61 |
| 降雨及び湧水量変化の地殻ひずみの観測に及ぼす影響について——岩倉観測室の場合—— | | |
| 高田 理夫・古沢 保・竹本 修三・山田 勝 | 71 | |
| 断層設定による大地震の震度分布の想定 | 小沢 泉夫 | 77 |
| 大地震の断層モデルによる長周期地動変位・速度の予測 | 三雲 健・村松 郁榮 | 85 |
| 鹿野断層の発掘調査とその地形・地質・地震学的考察 | | |
| 岡田 篤正・安藤 雅孝・佃 為成 | 105 | |
| 球形液体貯槽の地震応答解析 | 國枝 治郎・中西 啓二 | 127 |
| 1 層鋼骨組の捩れ振動実験 | 若林 實・藤原 梯三・中村 武・富田 真一 | 157 |
| K 型筋違付架構の弾塑性挙動に関する実験的研究 | | |
| 若林 實・柴田 道生・今村 哲雄・西野 孝仁 | 171 | |
| 鉄骨充腹ばりの横座屈に関する研究 (その 5) ——モーメント勾配のあるはりの塑性変形能力及び補鋼材の設計法—— | | |
| 中村 武・若林 實 | 185 | |
| X 形配筋を施した鉄筋コンクリート構造の弾塑性性状に関する基礎的研究 (その 2) | | |
| 若林 實・南 宏一・久木 幸雄・宮内 靖昌 | 201 | |
| 十字形骨組で構成される鉄骨鉄筋コンクリート柱はり接合部の | | |
| せん断破壊に関する実験的研究 (その 3) | 若林 實・南 宏一・西村 泰志 | 225 |
| コンクリート系構造部材のせん断強度について | 若林 實・南 宏一 | 245 |
| 台風時の風の乱れの特質と平均風速 | 石崎 澄雄 | 279 |
| 2 次元角柱前縁隅角部における圧と流れについて | 石崎 澄雄・桂 順治・河井 宏充 | 285 |
| 角柱振動時の風圧力特性について (その 1) | 石崎 澄雄・谷池 義人・近藤 宏二 | 297 |
| 角柱振動時の風圧力特性について (その 2) | 石崎 澄雄・谷池 義人・近藤 宏二 | 307 |
| 突風前線の観測について (その 2) | 石崎 澄雄・光田 寧・林 泰一 | 319 |
| 角状構造断面の空力渦励振に関する研究 | 白石 成人・松本 勝・白土 博通・松村 修一 | 331 |

| | | |
|---------------------------------------|------------------------------|-----|
| 負渦度領域を持つ軸対称渦の安定性 | 石川 裕彦・光田 寧 | 345 |
| 熱帯海洋上における接地気層の乱流特性 | 塚本 修・藤谷徳之助・光田 寧 | 357 |
| 熱帯海洋上の大気境界層の構造 | 文字 信貴・吉門 洋・光田 寧 | 371 |
| 大気境界層の遠隔測定法の開発 | 光田 寧・塚本 修・内田 諭 | 381 |
| 花崗岩山地斜面の表層地盤構造について——愛知県小原村における風化状況による | | |
| 地盤区分の試み | 中川 鮮・春日 茂・前田 憲二・奥西 一夫・飯田 智之 | 391 |
| 地震による二三の斜面崩壊の解釈 | 小林 芳正 | 401 |
| 土石流の総合的観測（その7）1980年 | | |
| | 奥田 節夫・諏訪 浩・奥西 一夫・横山 康二・小川 恒一 | 411 |
| 空中写真でみる地形災害——歴史的大災害（その1）—— | 平野 昌繁 | 449 |

第 24 号 B-2（昭和55年度），昭和56年 4 月

| | | |
|---|-------------------------|-----|
| 強震時における杭基礎構造物の非線形挙動 | 土岐 憲三・三浦 房紀・野口 雅之 | 1 |
| 埋設管の震害予測のためのマイクロゾーニングについて | | |
| | 後藤 尚男・杉戸 真太・亀田 弘行・磯田 厚志 | 23 |
| 飽和砂地盤の地震時液状化抵抗と標準貫入試験のN値 | 柴田 徹 | 47 |
| せん断応力除荷時の粘性土の弾性的挙動 | 清水 正喜・三村 衛 | 57 |
| 遅延圧密土の一次元変形挙動 | 赤井 浩一・佐野 郁雄 | 73 |
| 京都盆地の局地気象 | 田中 正昭 | 83 |
| 豪雨の時空間分布に関する研究——メッシュ法による広域・毎時雨量資料の解析—— | | |
| | 友杉 邦雄・後町 幸雄・辻 安治 | 91 |
| 入力の確率分布特性を考慮したダム貯水池操作 | 高棹 琢馬・池淵 周一・小尻 利治 | 109 |
| 確率論的な流出予測に関する研究——有色ノイズの導入—— | | |
| | 高棹 琢馬・椎葉 充晴・宝 馨 | 125 |
| エントロピー・モデルに関する2, 3の考察 | 高棹 琢馬・池淵 周一・寒川 典昭 | 143 |
| Kinematic Wave 法への集水効果への導入 | 高棹 琢馬・椎葉 充晴 | 159 |
| 閉塞浸透機構に関する研究 (3)——簡単なモデル実験による考察—— | 石原 安雄・下島 栄一 | 171 |
| 洪水流出モデルの最適定数 | 永井 明博・角屋 睦 | 183 |
| 巨椋低平流域の都市化と内水 (3)——水害危険度の変化—— | 角屋 睦・早瀬 吉雄 | 197 |
| 巨椋低平流域の都市化と内水 (4)——将来の洪水対策試案—— | 角屋 睦・早瀬 吉雄 | 209 |
| 山地流域における出水と土砂流出 (10) | 芦田 和男・高橋 保・沢田 豊明 | 223 |
| 山地流域における微細土砂の生産場と流出過程に関する研究 | 江頭 進治・芦田 和男 | 239 |
| 土石流の調節制御に関する研究——流路彎曲部における土石流の流動—— | | |
| | 芦田 和男・高橋 保・新井 宗之 | 251 |
| 傾斜路床上における泥水塊の挙動に関する研究 | 芦田 和男・江頭 進治・中川 一 | 265 |
| 河床波の変形過程に関する実験的研究 (2) | 芦田 和男・澤井 健二・加藤 均 | 283 |
| 河床波上の流れの三次元構造 | 宇民 正・上野 鉄男 | 297 |
| 各種河床条件における縦渦を伴う流れの乱流構造 | 中川 博次・称津 家久・富永 晃宏 | 315 |
| 密度流におけるコリオリ効果に関する研究 (2)——回転系の交換密度流実験—— | | |
| | 大久保賢治・村本 嘉雄 | 339 |
| 固液混相開水路流れの水理特性に関する研究 (3) | 今本 博健・大年 邦雄 | 367 |
| 水害情報の発表基準と伝達システムに関する現状解析 | 今本 博健 | 377 |

特性曲線法による二次元平面流れの数値解析法に関する 2, 3 の検討

| | | |
|---|-------------------------------|-----|
| | 岩佐 義朗・井上 和也・吉田 英信 | 387 |
| 貯水池における富栄養化の数値解析 | 岩佐 義朗・松尾 直規・森北 佳昭 | 397 |
| 交互砂州の発達過程に関する研究 | 藤田裕一郎・村本 嘉雄・堀池 周二 | 411 |
| 富山県宮崎海岸の海浜過程について | 土屋 義人・山口 正隆・白井 亨・河田 恵昭 | 433 |
| | 芝野 照夫・山下 隆男・A. R. Syamsudin | 433 |
| 台風7916号による大阪湾・紀伊水道の高潮について | 土屋 義人・中村 重久・山下 隆男・岡 扶樹 | 475 |
| 台風7617, 7916, 7920号による高知海岸の災害について | 上森 千秋・玉井 佐一・土屋 義人・安田 孝志 | 485 |
| 浅海域における不規則波の波高変化に関する研究 | 岩垣 雄一・間瀬 肇・田中 剛 | 509 |
| 内湾の物質分散過程における潮流と恒流の相乗効果 (II) | 大西 行雄・吉松 康公・秋友 和典・村本 嘉雄・國司 秀明 | 525 |
| 沿岸海域の物質分散 (II) ——浮子拡散実験—— | 柳 哲雄・村下 耕荘・樋口 明生 | 539 |

第 25 号 A (昭和56年度), 昭和57年 4 月

| | | |
|--|-----------------------|----|
| 防災研究所創立三十周年記念行事について | 石崎 澄雄 | 1 |
| Earthquake Prediction in the United States | Carl Kisslinger | 3 |
| (アメリカにおける地震予知の研究) | | |
| Typhoon Warnings and Preparedness | Robert H. Simpson | 7 |
| (台風警報とその備え) | | |
| The Hydraulic Research Function in Disaster Prevention | Herman N. C. Breusers | 11 |
| (オランダにおける水害の研究) | | |
| Climatic Geomorphology and Natural Disasters in Mountainous Regions in China | 丁 錫祉 | 19 |
| (中国の気候地形学と山地災害の諸問題) | | |
| Several Problems of Sand Liquefaction | 劉 穎 | 25 |
| (中国における地盤災害——特に液状化について) | | |
| 竜巻渦の室内実験 | 文字 信貴 | 27 |
| 実験地形学の最近の動向と災害科学との関連性 | 奥田 節夫 | 47 |
| 防災問題における資料解析研究 (9) | 芦田 和男・後町 幸雄・松村 一男 | 61 |

第 25 号 B-1 (昭和56年度), 昭和57年 4 月

| | | |
|---|------------------------------|----|
| 磁気バブルメモリを用いた強震動観測装置 | 赤松 純平 | 1 |
| 吉松地震観測所における地震観測 (III) | | |
| ——震源近傍で観測された先行傾斜変化—— | 石原 和弘 | 11 |
| 九州東南部における光波測量 (序報) | 高田 理夫・古沢 保・大谷 文夫・寺石 真弘・園田 保美 | 23 |
| Simple Laser Source を用いたレーザー伸縮計について | 竹本 修三・小林 年夫 | 31 |
| 地殻の伸びと傾斜の長期変動の観測とその騒乱源の推定 | 小沢 泉夫 | 41 |
| 地形と地震の関係——傾斜と地震分布—— | 見野 和夫・松村 一男 | 47 |
| トレンチ発掘溝周辺の γ 線測定 | 貞広 太郎・見野 和夫 | 59 |

| | | |
|---|---------------------------------|-----|
| 鹿野・吉岡断層周辺におけるガンマー線測定 (I) | 西田 良平・中尾 節郎・岸本 兆方 | 73 |
| 地震に伴う電磁放射の観測 | 尾池 和夫・小川 俊雄 | 89 |
| 山崎断層破砕帯の遠地震表面波に対する応答特性 | 谷口 慶祐・尾池 和夫 | 101 |
| 地すべり地における微小振動観測 | 前田 憲二・島 通保 | 115 |
| 2 方向水平地動を受ける立体構造物の動的崩壊過程——その 1, 振動実験と応答解析の比較—— | 若林 實・藤原 悌三・北原 昭男 | 129 |
| 構造部材の挙動に及ぼす載荷速度の影響に関する実験的研究 (その 2) | 若林 實・中村 武・岩井 哲・渡辺 幸広・下戸 芳寛・林 康裕 | 151 |
| 繰返し荷重を受ける鋼構造架構の弾塑性解析 | 若林 實・柴田 道生 | 169 |
| 2 軸曲げを受ける鉄筋コンクリート長柱の弾塑性安定に関する実験的研究 (その 1) | 若林 實・南 宏一・岩井 哲 | 183 |
| 鉄骨鉄筋コンクリート構造柱脚部の応力伝達機構に関する研究 (その 1) | 若林 實・南 宏一・西村 泰志・辻田 耕一 | 197 |
| 自然風中の模型ドームに作用する風圧について | 石崎 潑雄・桂 順治 | 221 |
| 角柱振動時の風圧力特性について (その 3) | 石崎 潑雄・谷池 義人 | 233 |
| 突風前線の観測について (その 3) | 石崎 潑雄・光田 寧・林 泰一 | 247 |
| 大火災に伴う旋風について | 光田 寧・文字 信貴 | 255 |
| 台風域内における地表風のシミュレーション | 光田 寧・藤井 健・塚本 修 | 273 |
| 種々の湿度計を用いた水蒸気輸送量の直接測定 | 塚本 修・光田 寧 | 283 |
| 積雲の雲底下における大気の状態について | 光田 寧・内田 諭 | 297 |
| 焼岳上々堀沢扇状地における土石流の堆積構造 | 諏訪 浩・奥田 節夫 | 307 |

第 25 号 B-2 (昭和56年度), 昭和57年 4 月

| | | |
|---|-------------------------|-----|
| 上部工の拘束を考慮した多点入力高架橋の地震応答解析 | 後藤 尚男・亀田 弘行・浅村 忠文 | 1 |
| 大規模断層破壊による地震動の推定 | 後藤 尚男・杉戸 真太・亀田 弘行・奥村 俊彦 | 33 |
| 護岸構造物の振動特性について | 柴田 徹・佐藤 忠信 | 53 |
| 水—地盤—護岸構造物系の地震応答解析 | 土岐 憲三・三浦 房紀・寺田 倫康 | 67 |
| トンネルの支保効果に関する基礎研究 | 足立 紀尚・田村 武・八嶋 厚・木村 亮 | 85 |
| 軟岩試料の内部構造変化と透水性との関連について | 赤井 浩一・大西 有三・李 徳河 | 101 |
| 三軸試験による不攪乱マサ土の強度・変形特性 | 柴田 徹・清水 正喜・都司 尚 | 113 |
| 大雨について——1981年11月 2 日の低気圧の解析—— | 中島暢太郎 | 131 |
| 豪雨の時空間分布に関する研究 (2)——広域・毎時雨量資料に基づく相関構造の解析 | 友杉 邦雄・辻 安治 | 141 |
| 閉塞湛水浸透の機構に関する研究 | 石原 安雄・下島 栄一 | 163 |
| 丘陵地源流域における流出現象と地中水の挙動 | 田中 正・安原 正也・酒井 均 | 181 |
| 山地小流域の土壌水分と流出特性 | 田中 宏平・四ヶ所四男美・瀬口 昌洋 | 195 |
| 貯留関数法の総合化 | 永井 明博・角屋 陸・杉山 博信・鈴木 克英 | 207 |
| 集中型流出モデルの構成と流出予測手法 | 高棹 琢馬・椎葉 充晴・宝 馨 | 221 |
| 貯留モデルによる実時間流出予測に関する基礎的研究 | 高棹 琢馬・椎葉 充晴・宝 馨 | 245 |
| 巨椋低平流域の都市化と内水 (5)——出水規模を考慮した洪水対策試案—— | 角屋 陸・早瀬 吉雄 | 269 |
| 水系一貫した治水計画の策定に関する研究 | 高棹 琢馬・池淵 周一・小尻 利治 | 285 |

| | | |
|--|------------------------|-----|
| 渾水の地域的特性とその要因構造分析 | 池淵 周一・嶋田 善多 | 297 |
| 降雨による流路網の発達過程に関する研究 | 澤井 健二 | 317 |
| 土石流の停止・堆積機構に関する研究 (3)——土石流扇状地の二次侵食 | 高橋 保 | 327 |
| 山地流域における侵食と流路変動に関する研究 (1)——粘着性材料を含む砂礫の 移動限界と流砂量—— | 芦田 和男・江頭 進治・加本 実 | 349 |
| 山地流域における出水と土砂流出 (II) | 芦田 和男・高橋 保・沢田 豊明 | 361 |
| 大戸川における濁りの季節変化 | 村本 嘉雄・藤田裕一郎・中村 行雄 | 375 |
| 貯水池堆砂の数値計算法に関する研究 | 芦田 和男・岡部 健士 | 389 |
| 粒子の浮遊限界と浮遊砂量に関する研究 | 芦田 和男・岡部 健士・藤田 正治 | 401 |
| 固液混相開水路流れの水利特性に関する研究 (4) | 今本 博健・大年 邦雄 | 417 |
| 中規模河床形態の形成条件 | 藤田裕一郎・村本 嘉雄・古川 隆司 | 429 |
| 河床波スペクトルの発達に関する研究 | 中川 博次・辻本 哲郎・富田 邦裕 | 451 |
| 流量変化に伴う河床波の応答に関する研究 | 芦田 和男・中川 一・加藤 均 | 473 |
| 床固め直下流部の局所洗掘過程のモデル化 | 道上 正規・鈴木 幸一・川津 幸治 | 493 |
| 複断面開水路流れの水利特性について (1) | 今本 博健・石垣 泰輔・稲田 修一 | 509 |
| 複断面彎曲開水路流れの水利特性について (1) | 今本 博健・石垣 泰輔・藤沢 寛 | 529 |
| 大規模乱流構造の可視化と解析 | 宇民 正・上野 鉄男 | 545 |
| 粗・滑面水路における水路幅方向の乱流拡散係数 | 岩佐 義朗・細田 尚・野口 好夫 | 557 |
| せん断乱流場における混合現象の Lagrange 的シミュレーション | 岩佐 義朗・綾 史郎・森田 義則・西川 秀昭 | 573 |
| 河口感潮域の流れと拡散の数値シミュレーション | 岩佐 義朗・井上 和也・田中 靖 | 585 |
| 密度流先端部の解析における相似理論の適用性 | 芦田 和男・江頭 進治・中川 一 | 597 |
| 湖の熱流動過程に関する研究 | 大久保賢治・村本 嘉雄・片岡 幸毅 | 615 |
| 沿岸海域の物質分散 (Ⅲ) ——連続点源染料拡散実験—— | 柳 哲雄・樋口 明生 | 643 |